

公共事業再評価調査

主管課： 道路街路課

1 事業概要 (整備目的)	事業名：一般県道東風平豊見城線道路改築事業				
	事業種別：一般県道改築事業		事業主体：沖縄県		当初事業期間：H10～H19
	事業箇所：豊見城市		根拠法令：道路法		事業期間：H10～H22
	総事業費(百万円)：18,310		費用内訳：補助率 9/10		事業量：L=4.67Km・W=30.0m
一般県道東風平豊見城線は、八重瀬町字東風平を起点とし、豊見城市豊崎に至る総延長9.1kmの道路である。現在、豊見城市上田交差点から豊崎に至る4.7kmの改築事業を推進している。 この事業により、那覇圏域と南部圏域が連結され、国道331号、県道11号線、県道68号線等の慢性的な交通渋滞を緩和し、地域間連携の強化、土地利用の増進、観光振興等に寄与するものである。					
2 再評価 該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業採択後10年間を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業採択後5年間を経過して未着手 <input type="checkbox"/> ③ 再評価後一定期間(5年)を経過 <input type="checkbox"/> ④ 事業の中止 <input type="checkbox"/> ⑤ その他()				
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input checked="" type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他() ・事業区間の一部(660m)については、豊見城市が宜保、上田土地区画整理事業に含めて道路拡幅を行う計画であったが、平成16年度に市が上田地区の事業化を断念したことから、同地区の道路拡幅を道路事業で実施するため事業区間を延長した。 ・翁長地区において、コスト削減の可能性の検討に時間を要し、用地交渉の着手が遅れているため。				
4 事業の 進捗状況 (H19.3時点)	項目	事業費(百万円)	整備(km)	用地取得(千㎡)	
計画	18,310	4.7	124.0		
実施済	11,892	1.3	70.4		
率	65%	28%	57%		
5 事業効果の 評価指標 (検討年42年) (基準年H18) (単位:百万円)	① 走行時間短縮	127,193		① 事業費	18,310
	② 走行経費低減	3,836		② 維持管理費	480
	③ 交通事故減少	1,040			
	総便益	132,069		総費用	18,790
	基準年換算(B)	57,586		基準年換算(C)	19,406
	費用便益比 (B/C) = 57586 / 19406 = 3.0				
6 事業を巡る 状況の変化	① 社会・経済： <ul style="list-style-type: none"> 豊見城地先開発事業の分譲状況は、平成19年8月末で住宅用地33%、商業施設用地100%、臨空港産業用地87%、都市開発関連用地88%と順調に進捗している。 平成14年12月「アウトレットモールあしびなー」がオープンし、新たな観光需要・雇用の創出が図られ、モール周辺にも大型商業施設の立地が進んでいる。 平成17年3月豊崎地区周辺が「エアウエイリゾート豊見城地域」として沖縄県観光振興計画観光振興地域に指定され多機能型観光リゾート拠点としての整備が進められている。 ② 地元・自治体： <ul style="list-style-type: none"> 上田土地区画整理事業の断念に伴い、平成17年3月豊見城市長から県に「県道68号線整備に関する要望書」が提出されている。 平成17年5月 豊見城市役所前通り地主会から県議会に「県道68号線道路拡幅の早期実施を求める陳情書」が提出されている。 ③ 利害関係者： 一部に単価不満はあるものの概ね事業に理解を示している。				
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など <ul style="list-style-type: none"> 急速な市街化の進展に伴い、事業区間の周辺道路は慢性的な交通渋滞を呈しており、早急な渋滞緩和が必要である。 豊崎地区には約7,000人の居住者が見込まれている。さらにホテル・大型商業店舗・工業団地の進出や「道の駅」の整備が進められており、アクセス機能の強化が急務である。 事業区間には、上田小学校外5校、豊見城市役所、豊見城中央病院等が位置しているが、周辺道路は歩道幅員が狭小のうえ通過交通も多いことから、安全な歩行空間の創出が必要である。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性やコスト削減) <ul style="list-style-type: none"> 終点の豊崎地区は供用済みで、起点の県道68号線重複区間も暫定3車線供用に向け整備を行っている。また、上田地区も工事に着手していることから、現計画の推進が効率的である。 ③ 事業効果の発現状況 <ul style="list-style-type: none"> 平成16年4月に国道331号から豊崎までの1.3kmを供用し、平成18年2月には地域高規格幹線道路の豊見城道路と連結している。また上田交差点は暫定改良により渋滞緩和が図られている。 				
8 今後の対応 ・見直し	① 事業計画等： 用地取得を速やかに完了させ、予定の事業期間での完了を目指す。 ② 対住民関係： 引続き用地交渉を重ね速やかな用地取得を目指す。 ③ 執行体制： 現体制で執行可能である。				
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止				